

**数理学委員会 第25期 第3回 数学分科会
議事要旨**

日時：令和4年1月14日（金）13:00—14:10

会場：日本学会会議 6C-1 会議室、遠隔会議（Zoom）

出席者：＜会場＞

小澤徹（委員長）、小藺英雄、小谷元子、坪井俊

＜オンライン＞

青嶋誠、伊藤由佳理（幹事）、今井桂子、岡本久、河東泰之、
河原林健一、木村芳文、小磯深幸、國府寛司、斎藤毅、齋藤政彦（副委員長）、
清水扇丈（幹事）、中村佳正、真島秀行、吉田善章

関係教育研究組織の代表者：井関裕靖、岡田聡一、熊谷隆、齊藤宣一、佐伯修、
初田哲男、俣野博、松井知子

オブザーバー：杉山由恵、樋口知之

議事

1. マスタープラン2020を巡るその後の動き

数理学分野のマスタープランは重点大型に採択されたものの、文科省で予算化されロードマップとして採択されるには至らなかった経緯が委員長から説明された。マスタープラン2023は策定されないが、その代替案が科学者委員会学術研究振興分科会で審議中である。

2. 産業界との連携を巡るその後の動き

小谷委員より産業界との連携の現状報告があった。

3. 今後の計画

日本数学会、日本応用数理学会、統計関連学会連合と関係教育研究組織で、今後の計画と方針について本分科会で議論を継続する事とした。

4. その他

- (1) 副委員長よりカーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議の構成員に数理学委員会も加わったとの報告があった。
- (2) 委員長より「持続可能な発展のための国際基礎科学年（IYBSSD2022）」について説明があった。